

公立学校への支援の充実に関する提言

近畿ブロック知事会

令和7年12月

公立学校への支援の充実に関する提言

いわゆる「高校無償化」により、多くの生徒にとって私立高校への進学がより大きな選択肢となると予測されることから、公立高校離れや小規模高校の再編統合が加速し、地方の高校教育の衰退を招く恐れがあるため、公立高校も選ばれる学校としての魅力づくりが喫緊の課題である。

一方、近年の深刻な気温上昇に伴い、公立学校では夏期の空調稼働日数や時間数が年々増加していることに加え、料金単価の高騰も重なり、空調にかかる光熱費が県財政の大きな負担になっている。

公立高校の教育環境の維持に必要な財源の確保は重要であるため、地方財政措置の拡充を次のとおり提言する。

・ 公立学校の空調光熱費への支援

近年の深刻な気温上昇による影響を踏まえ、公立学校の空調光熱費の需要増に対する財政措置を拡充すること。

令和7年12月

近畿ブロック知事会

福井県知事職務代理者

福井県副知事	中村保博
三重県知事	一見勝之
滋賀県知事	三日月大造
京都府知事	西脇隆俊
大阪府知事	吉村洋文
兵庫県知事	齋藤元彦
奈良県知事	山下真
和歌山県知事	宮崎泉
鳥取県知事	平井伸治
徳島県知事	後藤田正純